

## グアテマラ経済（2011年9月）

平成23年10月  
在グアテマラ日本国大使館

### 『9月の主な動き』

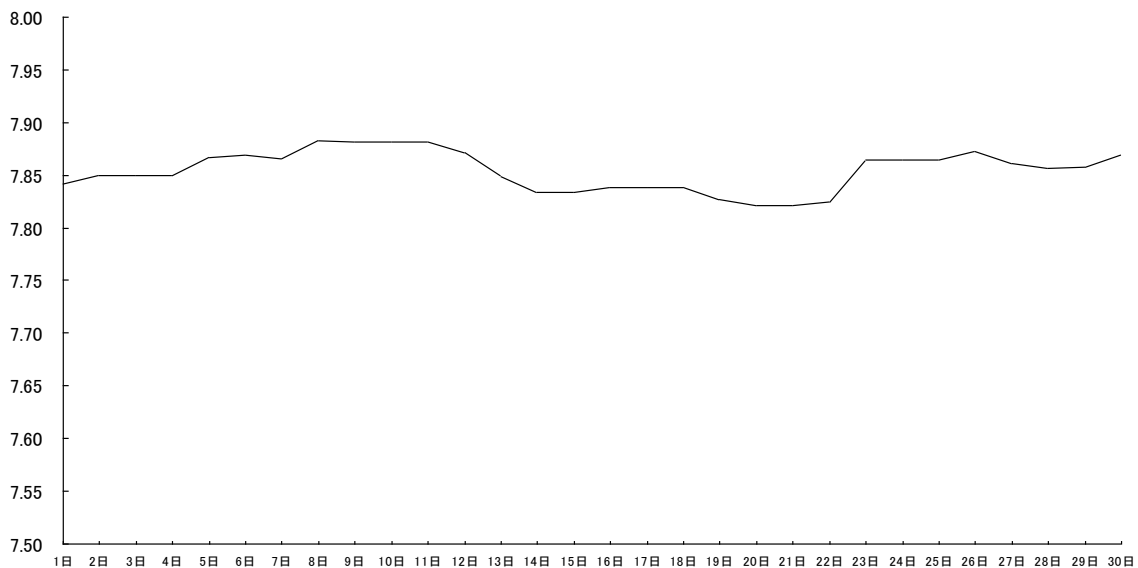
- 9月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.82~7.88の範囲で推移した。
- 9月、消費者物価指数は前年同月比で7.25%の上昇となり、年率では21ヶ月連続して上昇した。
- 9月、外国からの送金額は前月比で減少したものの、2ヶ月連続前年同月額を上回った。
- 2日、政府は2012年度国家予算案を国会に提出した。
- 20日、国会審議が遅れていた IDB の借款案件及び中米経済統合銀行（BCIE）による借款案件が国会承認された。
- 28日、金融審議会は政策金利を現行の5.00%から5.50%への引き上げを決定した

### 1. 主な経済指標

#### （1）為替レート（中銀）

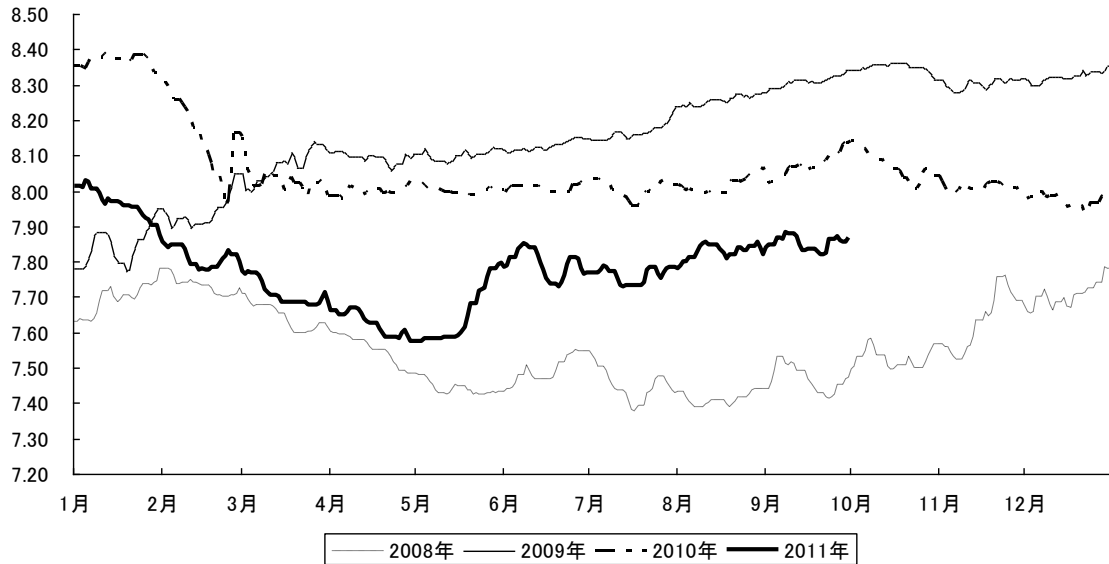
9月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.82~7.88の範囲で推移した。9月30日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.027ケツアル安ドル高の1ドル=7.869ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2011年9月



（出典：グアテマラ中央銀行）

### ケツアル対ドル相場の推移：2008年-2011年

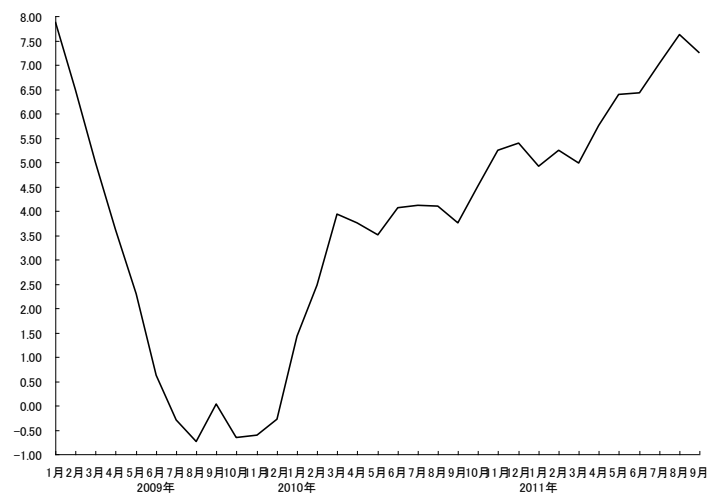


(出典：グアテマラ中央銀行)

### (2) 消費者物価指数 (国立統計院)

9月、消費者物価指数は前月比で0.07%下落した。一方、前年同月比では7.25%の上昇となり、年率では2010年1月以降21ヶ月連続して上昇した。

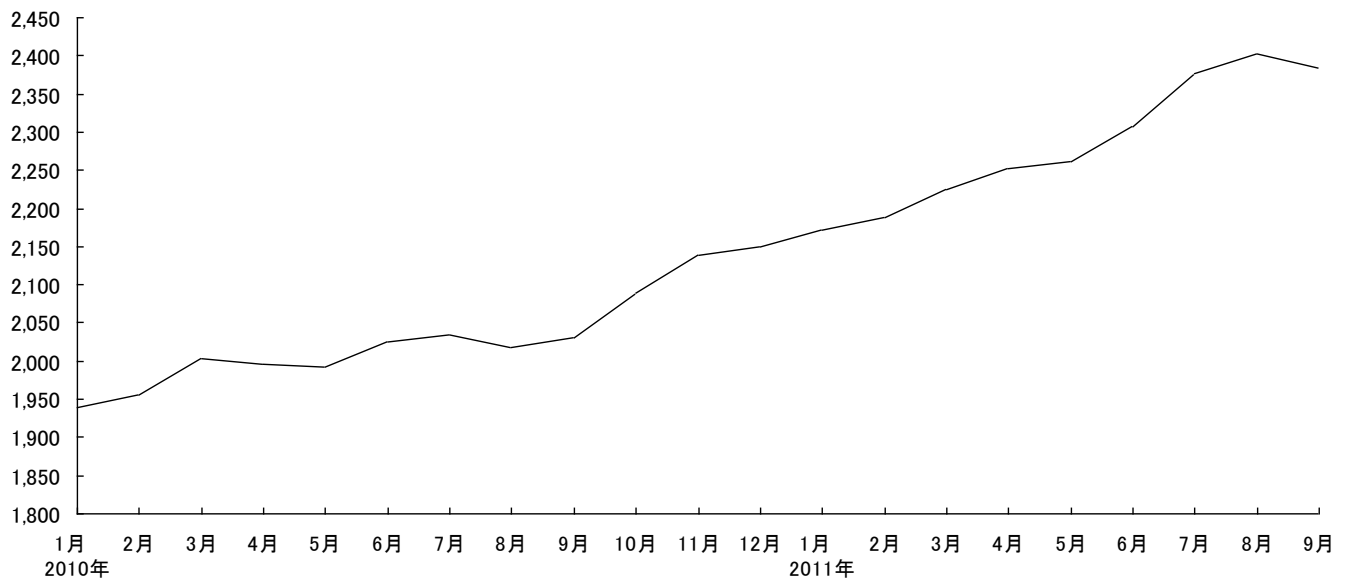
### 消費者物価変動率(対前年同月比：%)：2009-2011年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1 世帯 5.38 人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26 品目）価格は、前月比 19.80 ケツアル減の 2,383.50 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2011 年  
(単位：ケツアル)



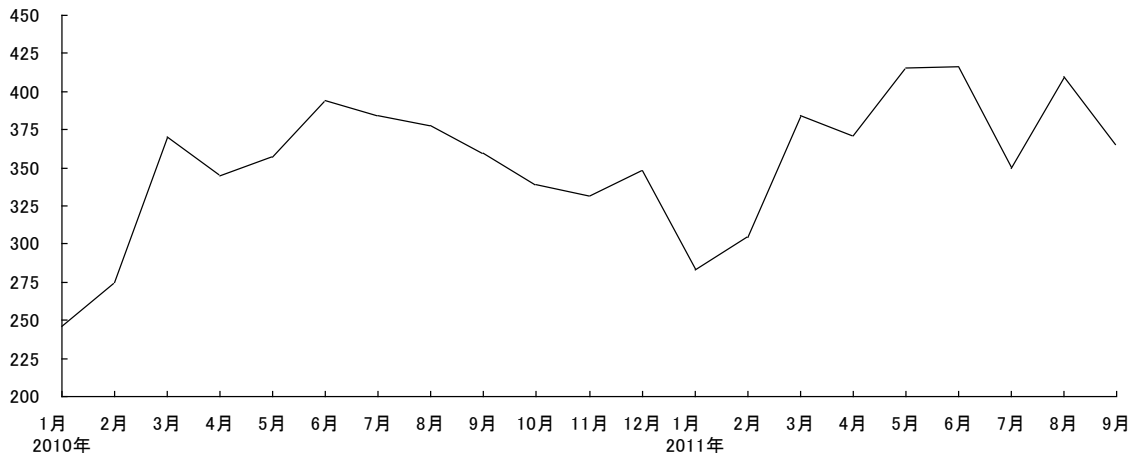
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 36.13 ケツアル減の 4,349.45 ケツアル/月となった。

### (3) 外国からの送金（中銀）

8月、外国からの送金額は前月に比べ減少したものの、前年同月比1.52%増の3億6,478万ドルとなり、2ヶ月連続で前年同月額を上回った。

外国からの送金額：2010-2011年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

## 2. 国内経済トピックス

### (1) 2012年度国家予算案の国会提出

2日、政府は2012年度国家予算案を国会に提出した。同予算案は、2011年度予算を5.7%上回る594億4,740万ケツアルとなった。右予算案では、2012年度の税収額は、第2脱税防止法案(Antievasion II)」の国会承認を前提とした436億1,100万ケツアルと見込まれている。また、同予算案では、97億ケツアルの債務(内75億ケツアルが国債、22億ケツアルが対外債務)が盛り込まれており、当国債務総額は948億6,491万ケツアルに上る見通しである。

### (2) 借款案件の国会承認

(ア) 20日、国会審議が遅れていたIDBの借款案件(2億5,000万ドル)及び中米経済統合銀行(BCIE)による借款案件(2億6,500万ドル)が過半数を上回る賛成票(127票)を得て国会承認された。IDBによる借款は気候変動対策及び公的債務の返済、また、中米経済統合銀行(BCIE)による借款は教育省及び保健省に充てられる。モンソン国会財政委員会委員長(与党国民希望党(UNE))は、「今般の借款案件国会承認により、(支払いが滞っていた)教員及び保健省職員に対する給与の支払いが可能となった。本借款案件は、今年度国家予算に組み込まれているため、本来は本年初頭に承認されるべきだった。」旨述べた。

(イ) 今般の借款案件国会承認は、与党(UNE)が野党愛国党(PP)の(教育省及び保健省向けの)12億1,500万ケツアルの補正予算を取り辞めるという改正案を受け入れたために愛国党(PP)議員が賛成に回り実現した。右補正予算の取りやめにより、財務省は同額を捻出するために諸機関の予算を削減した。グラマホ愛国党(PP)副党首は、「国家予算に制限を掛けることに成功し、不要な補正予算を避けることが出来た。」旨述べた。アレホス国会議長(与党(UNE))は、「国会審議が開始された。今後、審議される予定の法案は沢山残っているものの、(国会議員間における)合意へ前進している。」旨述べた

### (3) 世界経済フォーラム国際競争力指数

7日、世界経済フォーラムは国際競争力指数において当国の順位が142カ国中84位(2010年は139カ国中78位)であった旨発表した。サパタ・グアテマラ開発財団(Fundesa)代表は、「国内治安情勢の悪化により当国は経済活動を行うのに最も費用のかかる国となってしまったことが、当国競争力の抑制に繋がっている。」旨述べた。また、ボッシュ・グアテマラ開発財団(Fundesa)副代表は、「国際競争力指数等の報告書は、当国への投資の減少及び国内雇用創出の鈍化に繋がる。同指数の向上を目指す公共政策の策定を含めた対策を講じるべきである。」旨述べた。

### (4) 中国商業エキスポの開催

(ア) 22日、グアテマラ市において第3回中国商業エキスポの開会式が行われ(22日から25日まで開催)、当国からはベラスケス経済大臣、アルスー・グアテマラ市市長等、また、中国からは、Dong Songgen中国国際貿易促進委員会副会長、Nie Yan・ZTEコーポレーション副社長等が出席した。同エキスポには、重機、建設機材、自動車・二輪車メーカーを中心とした50以上の中国企業及び130人以上の中国人企業家が参加している。Dong Songgen副会長は、「当国は、中国にとり地理的に優位な条件にあると共に、中米地域で特別な地位を占めている。他方、中国は当国に限らず中米地域全域における輸出を目指している。グアテマラは農業に非常に強い国であり、同分野における協力が可能であろう。」旨述べた。Hong Lei中国内務省報道官は、「中国は当国を含めた中米諸国とは地域として交渉を行うことに関心を抱いている。5カ国と交渉するのは複雑であると共に、中米諸国は既に統合化システムを備えている。」旨述べた。

(イ) ベラスケス経済大臣は、「今般のエキスポではグアテマラ・中国関係者間で総額5,000万ドル相当の商談が成立することを望んでいる。今後、コーヒー、砂糖、バナナ等の農作物及びテクノロジー分野において中国市場に食い込める様取り組んでいく。」旨述べた。また、オリバ・グアテマラ中国商業・協力会議所会長は、「現在、グアテマラ・中国間貿易は、中国からの輸入が全体の95%以上を占めるため、当国から中国への輸出量を増加させ、貿易収支の改善に向け取り組みたい。」旨述べた。グアテマラ中銀の統計によると、当国の2010年における対中輸入総額は9億8,365万ドルであった。一方、同輸出額は3,488万ドルに留まった。

### 3. 対外経済トピックス

#### (1) 中米・カナダ自由貿易協定交渉

(ア) 1日、ベラスケス経済大臣は記者会見において、「カナダと自由貿易協定交渉を開始してから11年が経過したが、交渉は進展していない。同国との交渉が進展しない理由の一つは、同国が本件交渉に労働基準及び環境問題を盛り込もうとしているからである。また、カナダは同国産豚肉の対グアテマラ輸出における関税撤廃を要求している。右交渉は、最終会合を待つのみであり(交渉が再開されない)現状維持はありえない。今後、民間セクターと共にカナダとの最終会合を持つか、本件交渉を中止するかを決断を下す必要がある。仮に最終会合が開かれるとすれば本年11月となろう。9月7日から9日までカナダにて同国経済大臣と本件に関し協議する。」旨述べた。

(イ) 2000年に開始した中米4カ国・カナダ間自由貿易協定交渉は交渉が遅れており、これまでのところホンジュラスのみがカナダとの署名に至った。ベラスケス経済大臣は、「交渉が継続となるのであれば、当国はカナダがホンジュラスと合意した条件(年間25,000人のホンジュラス人短期労働者の受け入れ等)と同水準の条件を模索していかなければならない。」旨述べた。カバジェロス当国農業会議所(CAMAGRO)理事長は、「カナダとの交渉が進展しない現状を懸念する。当国経済省及び同省交渉団は、当国にとって優位な交渉を行う技術的能力に欠けている。」旨述べた。

#### (2) 中米EU連携協定発効時期の見通し

28日、セニャン当地EU駐在代表は、EU地域における経済危機の影響により、2012年上半期の発効が目指される中米EU連携協定の批准及び発効時期が予定より遅れる可能性がある旨述べた。セニャン代表は、「EU諸国が様々な問題を抱える現在、中米EU連携協定の批准及び発効はEUの優先順位に入っていない。一方、仮にEUが不況に陥り、世界経済危機に至った場合、本協定は中米・EU両地域にとり好機となるであろう。」旨述べた。また、同代表は、「現在、中米EU連携協定は、欧州委員会(EC)にて事務的手続きを踏んでいるところである。右手続きにはEU27カ国が携わるため、一定の期間を要するであろう。」旨述べた。ベラスケス当国経済大臣は、「当国外務省と連携し、本年11月30日までの本件協定の当国国会における批准を目指している。」旨述べた。また、エストラダ当国非伝統輸出産品輸出企業組合(AGEXPORT)競争力部門長は、「EUは現在、複雑な問題を抱えているものの、同地域が当国にとり重要な市場であることには変わらない。」旨述べた。

(了)